

八ヶ岳 阿弥陀岳南稜

大濱

【日時】 2013年3月9日(土)～10日(日)

【メンバー】L田邊、SL佐藤(里)、野口、大濱

雪稜初体験の新人2名が、強力なリーダーの下、バリエーション入門の阿弥陀岳南稜に行けることになった。新人特権バンザイ！おかげで、3月初旬とは思えないポカポカ陽気の中、最高のコンディションで、初の雪稜を満喫してきました。

3月9日(土) 快晴

8:45 舟山十字路

既に6～7台の車が停まっている。私達も早速準備を整えるが、まるでGWのような気候で、アウターは全員ザックの中へ。田邊リーダーと新人野口君のザックは、大量の共同装備(&夜のお楽しみ)のためにパンパンになっている。

12:00 立場山

立場山山頂は、樹林に囲まれて視界はまったくくない。風もなく穏やかな陽気だが、斜面はツルツルに凍っていて、なかなか気が抜けない。すぐにアイゼンをつけたくなったが、他メンバーは問題なく登っていく。足を丁寧に置いて歩けば大丈夫とのことで、結局1日目は最後までアイゼン不使用で済ませた。

12:30 青なぎ

そろそろ阿弥陀の南稜がくっきりと見え始めた。P1～P4まで分かりやすい。

13:50 テン場着

無名峰～P1を超え、P2手前のコルで幕。阿弥陀はもちろん赤岳にも見下ろされ、茅野の街を眼下に望む最高のテン場に興奮する。黄砂のせいで若干霞んでしまったが、南ア、北ア、富士山も見えて、新人はひたすら感動。

15時前には宴会が始まり、サトリカシェフの肉てんこ盛り豚汁を筆頭に、山中とは思えぬ贅沢な酒肴。これに夢中に成り過ぎて、外の絶景を眺めて飲むという風流心を完全に忘れた。もったいないことをした。



【青なぎから阿弥陀ピーク】



【絶景のテン場】

3月10日（日）曇り時々雨

4:00 起床

穏やかだった昨日とは異なり、風が強い。

6:30 出発

今回の山行で漸くアイゼン、ピッケルの出番がきた。マイピッケルは短すぎて縦走には不向きなため、サトリカさんと交換して頂く。出発してすぐにP2、次いで核心のP3にかかる。雪訓の内容をすっかり忘れて出だしアタフタするも、先輩方に前後を

挟まれ、次第に落ち着きを取り戻した。

P3のガリーは緩斜だが、新人のためにロープを出してもらう。サトリカさんは雪稜で初リードながら、サクサクと登っていく。が、上で支点作成に手間取ったとのこと。続く野口君も、重い荷物を物ともせずサクサク。3番手の私は、つるんつるんの氷にピッケルをちゃんと刺すことができずにモタついたため、寒風の中、後から見守るリーダーを



【阿弥陀山頂にて】

凍えさせた。前爪だけで立つ感覚は、前回のICで体験したときは何ともなかったのに、今回はなぜかおっかなく、ロープの存在がとてもありがたかった。P4の手前で小休止をとり、間近に迫る山頂を目指す。

8:40 阿弥陀山頂

赤岳の頂は隠れてしまったが、登ってきた迫力の稜線がくっきりと見えて、なんとも気持ちがいい。山頂を満喫後は、御小屋尾根を下って駐車場を目指す。

13:20 舟山十字路着

順調に下山するも、最後の最後で八ヶ岳別荘地という迷路にハマリ、1時間程彷徨ってようやく駐車場に辿りついた。

【行程】 3/9 駐車場(8:45)～立場山(12:00)～青なぎ(12:30)～P2手前のコル(13:50)

3/10 P2手前のコル(6:30)～阿弥陀山頂(8:40)～駐車場(13:20)

【地図】 八ヶ岳